
少し不機嫌な話

ヨルタカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少し不機嫌な話

【Nコード】

N7065Y

【作者名】

ヨルタカ

【あらすじ】

メビウスリング内で自分で下書きしたものを少し手直したものです

―とある学校の放課後―

「…はあ…」

二階の南棟と中央棟を結ぶ渡り廊下で、一人運動場を眺める女子生徒がいた

音楽プレイヤーを片手に、音量調節をしていて、その意識は外で活動している野球部などには向いていない

「…15分…ね…」

携帯をチラッと見て、呟く

それは彼女が部室から逃げ出した時間

最近、部室の居心地がとても悪く、こうやって渡り廊下へ逃げ出すことが増えたのだ

そのとき、「トイレ」とそっけなく部員に投げかけて

大会も終わり、次の大会に向けての部員のモチベーションも高まっているが、彼女はソレが嫌だった

そう、大会終わり前後だけの、ある種の熱病のようなその状況を

(…もってひと月…かな?)

もう一度ため息をついて、運動場から目線を下に降ろす

やる気があるのは大歓迎だし、新しい作品を作るのにも協力したい
しかし…いつから不快に思うようになったのだろう…

いつしか曲は、次の曲に変わっていた

…部室に居ることが不快なのか？そもそも実はやる気になることが
不快なのか？

考えれば考えるほど抜け出せない、そう迷路の真ん中に居る感覚
我ながらなんともありきたりで陳腐な例えだと思いながら、少しだ
け曲を口ずさむ

曲は、3曲目

このままだと、彼女は自分の最も恐れている状態になるのではと考
える

彼女が恐れているのは…自分の仲間が発言するだけでイラつくので
はないかということ

事実それに近い状態には陥っていた

この状態も、実際は自分がただ単に被害者ぶって、自分を神聖化し
ただけの

それこそもっとも不快に思われるべきものだ、どこかわかっていた
わかっていて…変えられない自分が嫌いだった

このまま頭から落ちてしまおうか…？

その最近の若者にありがちな思考を振り払って、携帯をチラッと見る
先ほど時計を見てから16分経過している、そろそろ戻らなければ
怪しまれるだろう

…といっても部員には私が逃げていることは感づかれているだろう

が…

「…仕方ない…」

仕事から逃げ居ても仕方ない…彼女はそう思い、その場を名残惜しそうにゆっくり歩いていった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7065y/>

少し不機嫌な話

2011年11月21日10時57分発行